

資料配布の場所

1. 国土交通記者会
 2. 国土交通省建設専門紙記者会
 3. 国土交通省交通運輸記者会
 4. 筑波研究学園都市記者会
- 平成 29 年 3 月 29 日同時配布



平成 29 年 3 月 29 日
国土技術政策総合研究所

「安全運転支援サービス」と「交通計測技術」に関する 2つの研究成果が高い国際的評価を受けました ～第15回 REAAA 道路会議で片平賞を受賞～

3月21日～24日にインドネシア・バリ島にて開催された REAAA（アジア・オーストラレーシア道路技術協会）が主催する国際会議において、国総研が発表した2つの論文が国際的に高く評価され、片平賞*を受賞しました。

- ・「路車協調システムを活用した安全運転支援サービスの効果評価」に関する論文（玉田和也研究官 他）（最優秀論文賞）
- ・「画像処理技術による交通計測技術」に関する論文（関谷浩孝室長、河本直志研究官 他）（準優秀論文賞）

*片平賞は、若手技術者（40歳未満）を対象として、道路工学に関して特に優れた論文に与えられる賞です。株式会社片平エンジニアリングならびに株式会社片平エンジニアリングインターナショナルの創業者で、第5期 REAAA 会長（1983年8月～1986年8月）を務めた故片平信貴氏の遺言により創設されたものです。

1. 会議の概要

REAAA 道路会議は4年ごとに開催される、アジア太平洋地域における道路工学関連の専門技術の推進、道路関係者の情報交換の場として、多くの道路関係者が参加する会議です。国総研では、広く海外での道路工学の発展に貢献するために、国際的にも注目される本会議に研究成果を発表し、技術的知見を発信してきました。

2. 受賞論文の概要

(1) 「路車協調システムを活用した安全運転支援サービスの効果評価」に関する論文
日本の都市高速道路は限られたスペースに建設されたため、見通しの悪いカーブが存在する等、交通事故の要因となる可能性があります。

そこで、国総研ではこうした事故を効果的に防止するため、自動車と道路の間の通信により、必要な情報を必要なタイミングで運転者に提供することが可能な安全運転支援サービスを開発してきました。本論文はサービスの特徴を概説するとともに、運転シミュレータ、実道実験、利用者意識調査等、多面的な方法でサービスの有効性を検証したものです。

(2) 「画像処理技術による交通計測技術」に関する論文

インドネシアでは地中に埋設した計測機器により交通量計測を行っていますが、熱帯気候や過積載車両の影響による機器の損傷や計測精度が課題です。

そこで、日本で導入が進められている「CCTV 画像処理による交通量計測技術」のインドネシアでの適用を、インドネシア道路研究所と共同で研究しました。このうち、CCTV カメラの最適な設置方法について分析した結果を本論文で扱っています。インドネシア側では本研究の知見をもとに、既存の CCTV カメラの交通量計測への活用に向けた検討を行っています。

国総研では、インドネシア道路研究所と道路分野において複数のテーマ（地域インフラ開発、交通量データの収集技術、交通安全、二輪車を用いた環境にやさしい輸送システム、アスフトン、ポリマー改質アスファルト、トンネルと地下構造物）で共同研究を行っています。今後もこれら共同研究を推進し、両国の協力の一層の深化を図っていきます。

【受賞概要】

会議名称：第15回 REAAA（アジア・オーストラレーシア道路技術協会）道路会議
場所：インドネシア デンパサール（バリ島）
受賞日：平成29年3月23日

【片平賞（最優秀論文賞）】

受賞論文題名：EVALUATION OF LONG-TERM EFFECTS FOR DRIVING SAFETY SUPPORT SERVICE USING VEHICLE-INFRASTRUCTURE COOPERATIVE ITS

受賞者：国土技術政策総合研究所
道路交通研究部 高度道路交通システム研究室 玉田和也
道路交通研究部 高度道路交通システム研究室 牧野浩志
道路交通研究部 高度道路交通システム研究室 井坪慎二
道路交通研究部 高度道路交通システム研究室 吉村仁志

【片平賞（準優秀論文賞）】

受賞論文題名：APPLICATION OF IMAGE PROCESSING TECHNOLOGY TO TRAFFIC COUNTING

受賞者：国土技術政策総合研究所
社会資本マネジメント研究センター 社会資本情報基盤研究室 関谷浩孝
道路交通研究部 道路研究室 河本直志

インドネシア道路研究所（Institute of Road Engineering）
Achmad Sidhi PURNAWA
Handiyana ARIEPHIN
Disi Mochamad HANAFIAH



受賞時の様子（玉田研究官）



受賞時の様子（関谷室長）



集合写真（玉田研究官：右から4人目、吉村交流研究員：右から3人目、関谷室長：左から3人目）

（問い合わせ先）

<個別の論文についてのお問い合わせ>

（1）論文「路車協調システムを活用した安全運転支援サービスの効果評価」について
道路交通研究部高度道路交通システム研究室 牧野
電話：029-864-4496、FAX：029-864-0178、e-mail：nil-itsd@mlit.go.jp

（2）論文「画像処理技術による交通計測技術」について
社会資本マネジメント研究センター 社会資本情報基盤研究室 関谷
電話：029-864-4916、FAX：029-864-0565、e-mail：nil-jyouhou@mlit.go.jp

<インドネシアとの共同研究についてのお問い合わせ>

企画部国際研究推進室 鹿野島

電話：029-864-4457、FAX：029-864-4322、e-mail：nil-kokusai@mlit.go.jp